

活動報告

団体名	ゴジョる
活動名	釜石市社協の豊かな被災者支援活動を支えるための基盤整備・人材育成事業
活動期間	2019/10/13～2019/11/30
活動の成果	<p>令和元年東日本台風（台風19号）災害では岩手県内でも9つの災害VCが開設され、ボランティアの分散化による運営の長期化が開設当初より懸念されておりましたが、岩手県釜石市では釜石市社会福祉協議会様を中心に東日本大震災より連綿と培った支援体制のネットワークが発揮され、被災された皆様おひとりおひとりに寄り添ったきめの細かい支援が行われたと感じております。弊団体も多数の災害において、復旧復興ボランティア、災害VC支援を展開してまいりました。本災害では一貫して弊団体が持つノウハウや人的資源を以後の災害の備えとなるよう実践を踏まえながら災害VC若手職員の皆様へお伝えしました。また中長期にわたる災害VCの運営に際し、スタッフの休暇の確保、ボランティア様との信頼関係構築に微力ながらお力添えができたと思っております。本災害ではラグビーワールドカップ（以下RWC）の開催期間中であり、様々な点においてイレギュラーな中での災害VC運営となりました。特に来日中のカナダチームの活動依頼については、日ごろから協力関係にある市内ボランティア団体、語学ボランティア、地元高校生などの多様な団体や個人が一丸となって復旧支援に取り組むという新しい支援体制が構築されたと感じております。災害VCの役割は、地震、水害等が多発する昨今、その重要性は災害が発生するごとに大きくなっており、突発的に起こる災害に対し、それを直接運営する各地社会福祉協議会様の体制は様々な要因から全方面での対応が可能とは言えません。本事業を通じ改めて、実践を通じた協同の重要性を痛感し、日ごろからの備えの必要性をご協力いただきました釜石市社会福祉協議会様とともに理解しえたと感じています。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>本事業では災害ボランティアを支え、被災した地域の人を支える災害VCの基盤強化とそれに携わる運営者の育成を民間団体のノウハウとネットワークを生かして取り組みました。災害が多発する近年、災害VC機能はその重要性を日ごとに増してきており、また支援活動に参加される皆様、被災された皆様の物心両面での支えになる社会基盤の一つになりつつあります。本事業を通じて発災時の災害VCの在り方一つでその後の復旧復興に大きく関わり、ひいては被災後の地域社会の在り方を見つめるものだと改めて感じました。本事業をご支援いただき誠にありがとうございました。</p>

（活動のようす）

